



碧南ロータリークラブ週報

第2673回例会 平成26年1月29日(水)

- 会長 長田 豊治
- 幹事 岡本 明弘
- 会場監督(SAA) 角谷 信二

2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 鈴木泰博・奥津順司・杉浦栄次



●齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●本日のお客様

碧南市役所 経営企画課 課長 奥谷直人様

会 長 挨 拶

梅の記事が新聞に載るようになってきました。暦では来週には立春だそうです。いよいよ春間近な、これが終わりの寒さなら我慢も出来るかと思えます。

お茶人の熊倉功夫さんの本にこんな記事がありました。

「南方録」という今から二百年ほど前にできたお茶の本がある。

その中に、お茶とは「朝、薪をとり湯を沸かし、茶を点てて、仏に供え、人にもほどこし、自分も飲む。」という事である、と書かれている。大事な事は自分も飲む事である。

もてなしというと、いかにも手を尽くし心を尽くして相手にサービスする事のように思われがちだが、それでは「人にもほどこし」で終わってしまう。あわせて、自分もまたその恩恵に浴すべく「自分も飲む」。つまり、相手をもてなすと同時に、自分ももてなされて初めて完結する。もてなしは一方通行ではない。客と亭主が互いに相手を高めあう事だ。難しいのは、もてなそうと思ったとたんに、相手にこびる気持ちが出る事だ。相手の心にならねばよいが、かなおうとすると元も子もなくなる。

ロータリーの奉仕も通じる心構えだと思います。

ロータリー活動を通じて皆さんも、自分ももてなして頂き、ロータリーを楽しんで頂きたいと思えます。



長田豊治会長

幹 事 報 告

本日の幹事報告は2点ございます。

- ・ 例会変更等は幹事報告書の通りでございますので、ご一読お願い致します。
- ・ 来週2月5日の例会終了後、第8回の理事会を開催致します。役員理事の方はお集り頂きますよう、お願い致します。



岡本明弘幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 67 名 (内出席免除者 9 名の内出席者 8 名)出席者 56 名	
出席対象者 56/65 名	出席率 86.15%
欠席者 11 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 98.41%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

長田 豊治君 新春防火たこあげ大会で孫が碧南商工会議所会頭賞を受賞しました。ありがとうございました。

石川 春久君 黒田泰弘さんに大変お世話になりました。

木村 徳雄君 1/26白樺高原スキー場にて第53回碧南市民スキー大会が無事終わりました。

因みに、木村 壮年3部55歳以上にて参加しました。結果は無事大回転完走しました。団体3位私の力ではありません。

先日、奥田さん、新美宗和さん、鈴木泰博君に美味しいワインを飲ませて頂きました。又、お願いします。

新美 雅浩君 奥田先生、新美宗和様、鈴木泰博様にお世話になりました。

角谷 修君 本日の卓話の講師 碧南市役所経営企画課 奥谷直人様をご紹介します。

卓 話

市出前口座「明日への政策について」

碧南市役所 経営企画課 課長 奥谷直人様



奥谷直人様

皆様、改めましてこんにちは。碧南市役所の総務部経営企画課長の奥谷と申します。日頃は、皆様方に市政全般に渡りご協力

を頂きまして、感謝を申し上げます。また、本日はお招き頂きまして、ありがとうございます。本日は、「明日への政策について」と題した話をさせて頂きます。

昭和32年に衣浦港重要港湾の指定がございました。碧南を語る上では必ず事の出来ない出来事です。市制40周年の昭和63年のデータですが、市域面積は市制施行時の1.6倍、臨海部立地企業数は140社でございます。当時の碧南市の財政力指数（財政の豊かさを示す値）は県下1位でした。

平成に入りまして、碧南火力発電所の1～3号機が稼働しまして、碧南市の財政状況は不況知らずとなりました。市民病院や無我苑、芸術文化ホールの建設等が始まりました。

平成10年代には、火力発電所の4、5号機が稼働しまして、バブル景気崩壊後の経済で低成長でしたが、碧南市の財政は市債の繰上償還等の健全な財政運営で、高い水準の安定税収を維持しておりました。

平成20年に入りまして、リーマンショックで50億の市税減となり、財政が硬直化してくるという状況になりました。そして平成24年の秋、財政の再スタート宣言をさせて頂いて、高いレベルにある行政サービスの再点検を行い、税収に対応できる歳出構造を目指しております。

他の財政は、平成に入り3回ほど財政危機を迎えております。碧南市に関して、2回は不況知らずという事で乗り越えられました。3回目のリーマンでは、財政の構造を見直すのを余儀なくされたという事がございます。今年の予算から、皆様方への補助金も見直させて頂きまして、ご協力を得ているというのが現在の状況でございます。

これからの碧南市についてですが、まずは人口の面からお話させて頂きます。

2040年の平成52年には、碧南市の人口は65,000人ほどだと推定しております。平成22年時には、72,000人ほどでしたので約9%低下しております。65歳以上人口は、30.8%となり、現在よりも約10%上昇しております。公共施設にしても一斉に立替時期になり、更新費用が830億円程度になると予想されます。

市が将来計画をどのように定めているかという事ですが、将来像の「ひとのわで 楽しさ つくる みなとまち へきなん」を目指して、第5次碧南市総合計画の基本理念を実行している段階であります。この事業を進めるにあたり、直面している課題がございます。税収に対応できる財政構造の確立、巨大震災や公共インフラ老朽化対策、社会保障関連事業（扶助費）の増大などが課題として挙げられます。

今後3ヶ年の実施計画ですが、特徴的なものを以下に挙げさせて頂きます。

- ・ 市税収入は160億円余で推移
- ・ 財政調整基金を各年当初予算ベースで最低10億円確保
- ・ 経営事業は他市比較を徹底する中で見直しを図る
- ・ 施設老朽化対策など安心安全対策を積極的に実施

これらを実施する上で、持続可能な財政運営の確立を図っていきたいと考えております。

実施計画での主要事業を市長のマニフェストに沿って説明したいと思っております。市長のマニフェストでは7つの主要項目がございます。

まず一つ目として、「安心・安全」という事ですが、南中の危険校舎を改築する事により、

市内の全ての小中学校の改築が終了した事になります。また、棚尾まちづくり関連事業（名鉄跡地緑地整備、名鉄横断道路整備等）、浸水対策事業などがございます。

二つ目は、「福祉」の分野でございます。福祉センターあいくるのオープンや、市営宮下住宅の建替えなどを行い、思いやりあふれる福祉のまちづくりを目指します。

三つ目は、「教育・文化・スポーツ」の分野でございます。心の教育の一層の充実、少人数指導授業推進事業、少年スポーツ海外派遣交流などです。

四つ目は、「産業基盤の充実」です。主なものとして、衣浦港2号地造成計画事業、年緑地化推進事業、伊勢土地区画整理補助事業などがございます。衣浦港2号地造成計画事業では、市内立地企業の土地需要への対応、市外への移転防止などを目的としております。

五つ目は、「行財政改革」です。マイナンバー制度の導入への対応、ごみ処理広域化計画事業などがございます。

六つ目は、「協働社会の構築」という事でございます。地域まちづくり組織モデル支援や市民公益活動活性化補助事業、元気ッス！へきなん実施事業などがございます。

最後の7つ目は、「発進力の強化」という事でございます。今年、碧南市で開催する全国規模のイベントをご紹介します。技能五輪アビリンピックや全日本製造業コマ大戦開催補助、高松宮賜杯全日本軟式野球大会などを開催予定です。

まとめと致しまして、豊かな財政があるのも先人の知恵、ご努力、ご決断によるものでございます。非常に感謝しております。ただこれからは人口構造の転換期であり、身の丈に合った財政をしていく必要がございます。安心・安全施策を最優先に、安定した市民生活維持をし、将来への活力のための種まき、芽を伸ばすための施策を展開致します。まち全体がパートナーとして力を合わせ、信頼関係を築いていく事で、より魅力的なまちとなる様に努力致します。

本日はこのような機会を頂き、ありがとうございました。

次回例会案内

平成26年2月12日（水）

卓話：市出前講座「美術館収蔵作品について」

藤井達吉現代美術館 企画業務係 学芸員 土生和彦様

平成26年2月15日（土）

西三河分区 I.M.

グランドティアラ安城

平成26年2月19日（水）

15日の振替休会